

第 7 章 産業振興部

第 1 節 商工振興課

〔総括概要〕

令和元年度の我が国の経済は、海外経済の減速等を背景に外需が弱いものの、雇用・所得環境が改善され、10月に消費税率の引上げがあったものの、軽減税率制度や臨時・特別の措置など各種の対応策を実施したこともあり、内需を中心に緩やかな回復の兆しが見られた。しかしながら「令和元年房総半島台風」、「令和元年東日本台風」と相次ぐ大きな自然災害が発生したことから、災害からの復旧・復興と安全・安心の確保、経済の下振れリスクを乗り越えようとする者への重点支援、未来への投資と経済活力の維持・向上を柱とした総合経済対策を策定し、機動的かつ万全の対策を講じ、民需主導の持続的な経済成長の実現につなげることとした。

このような中、本市では「栃木市中小企業・小規模企業振興ビジョン」に掲げた中小企業者・小規模事業者の持続的な発展に効果的な施策の推進に取り組むとともに、甚大な被害を及ぼした令和元年東日本台風により被災した中小企業者の1日も早い復旧を支援し、本市経済の早期復興に努めた。

主な施策として、税率引上げ直後に生じる負担増の緩和や消費の下支えを目的とした、所得の少ない方や子育て世帯に対するプレミアム付き商品券の発行や、市制度融資の利用促進を行った。また、創業支援として、「蔵の街とちぎビジネスプランコンテスト」を開催し、新規創業や第二創業を志す優秀なビジネスプランへの奨励金の贈呈とともに事業化へ向けた支援に努めた。更に、台風被害にあった中小企業者等の負担を軽減するため、事業所の復旧や設備の更新、事業再建等の費用への補助金を交付した。

工業振興施策については、中小企業等が設備投資を通じて労働生産性の向上を図るための「先端設備等導入計画」の認定を行い、税制支援などの支援措置による生産性向上の推進に努めた。また、県から移譲を受けた砂利採取法に基づく認可事務を行うとともに、監視員による定期的な監視活動を実施し、採石場等における事故防止や不法採取の未然防止に努めた。

労働施策については、勤労者福祉施設の管理運営事業、勤労者への福利厚生の実施を目的とする勤労者福祉サービスセンターの管理運営支援を実施するとともに、関係機関等との共催により、大卒者、中高年者向けの就職面接会や就活イベントによる市内企業の人材確保に努めた。また、直面する「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」、「働く方々のニーズの多様化」などの課題に対応し、投資やイノベーションによる生産性向上や、就業機会の拡大、意欲・能力を存分に発揮できる多様な働き方が選択できる職場環境づくりなど、「働き方改革」の推進に努めた。

商業金融係

1 商業の振興

(1) 栃木市の産業と物産展（令和元年東日本台風による大雨被害のため中止）

本市の産業の発展と物産の普及促進を目的として、本市の誇る生産品や物産品等を広く紹介する第42回栃木市の産業と物産展を、商工会議所との共催で企画した。

- ・開催予定日 11月2日（土）、3日（日）

(2) 商工団体の育成及び助成

商工会議所、商店会連合会、たばこ組合、青色申告会の諸事業に助成を行った。

- ・助成実施状況 (単位：円)

名 称	事業費	うち補助額	備考(目的等)
栃木商工会議所事業費補助金	90,500,000	6,000,000	中心市街地活性化の促進等
栃木市商店会連合会事業補助金	5,600,000	1,500,000	商店街近代化対策の実施
未成年喫煙防止事業補助金	534,307	180,000	未成年者喫煙防止対策等
青色申告推進事業補助金	2,500,000	30,000	青色申告制度の普及推進
合 計	99,134,307	7,710,000	

(3) 大規模小売店舗立地法

大規模小売店舗立地法に基づき提出された企業の届出に対し、地元説明会開催の承認及び出席、届出書の縦覧、庁内連絡会議の開催による市意見の集約等を実施した。

届出区分	件数 (件)
法第5条第1項（新設に関する届出等）	-
法第6条第1項（変更の届出〔形式的変更〕）	5
法第6条第2項（変更の届出〔実質的変更〕）	2
法第8条第4項（市意見）	2

(4) 中心市街地活性化

中心市街地の活性化を図るため「商業の活性化」と「市街地の賑わい出し」等を柱とした各種施策を展開した。特に、市役所周辺の市中心部をより活気あるものにしようと、次の事業を推進及び支援した。

ア 中心市街地活性化支援

栃木商工会議所が事業主体の中心市街地活性化や賑わいの創出のための各事業への支援を行った。

名 称	補助額	備考
中心市街地活性化支援事業 (栃木商工会議所運営事業費内)	1,500,000円	事業費助成

イ 中心市街地イベント等の推進及び支援

事業名	実施日	会場
第23回人形まつり	5月5日(日)、6日(月)	山車会館前広場
第15回県名発祥の地 「十千木縁日」	6月15日(土)	山車会館前広場

蔵の街サマーフェスタ協賛 栃っ子茶屋	8月4日(日)	栃っ子広場
第2回蔵の街とちぎ得する ゼミナール	9月14日(土) ～10月14日(日)	栃木市商店会連合会 加盟商店会各所
第13回あそ雛まつり 縮小開催 ※	2月27日(木) ～3月8日(日)	中心市街地一円

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

ウ 空き店舗活用促進事業

新規開業者や中小企業者が対象区域内の空き店舗において開業する際に、店舗改装費、家賃、専門家相談費用を補助し、開業及び商店街活性化のための支援を行った。

- ・対象事業 小売業、飲食業及びサービス業（風俗業及び遊戯業等は除く。）
- ・対象区域 栃木地域：蔵の街大通り沿い、銀座通り沿い、ミツワ通り沿い、
嘉右衛門町重要伝統的建造物群保存地区日光例幣使街道
沿い、新栃木駅西口県道新栃木停車場線沿い
大平地域：富田地区中心市街地商業振興会エリア
西方地域：金崎商店会エリア
- ・補助内容 店舗改装費の2分の1以内（限度額100万円）
開店後の家賃12か月分の2分の1以内（限度額50万円）
専門家相談費用の2分の1以内（1回の限度額1万6千円を5回まで）
- ・実績 新規開業：2件
前年度からの家賃継続：2件

(5) プレミアム商品券（とち介商品券）発行事業

ア プレミアム付き商品券の概要

市内の景気回復や消費の活性化を図るため、市内の商工会議所及び商工会によって構成される栃木市商工経済団体連絡協議会が事業主体となりプレミアム付き商品券を発行した。

- ・発行者：栃木市商工経済団体連絡協議会
- ・発行総額：2億2,000万円（プレミアム含む額面）※プレミアム率10%
- ・販売方法：事前申込販売※応募多数により抽選
- ・発行内容：発行部数：20,000冊
1冊11枚綴り（1,000円券×11枚、11,000円分）を10,000円で販売、中小店（店舗面積1,000㎡未満）専用券が6枚、全店共通券が5枚
- ・購入限度：1人5冊まで。同居家族分の購入も可。通勤通学者は本人分のみ可。
- ・購入資格：18歳以上の栃木市在住の方、通勤通学者
- ・有効期間：10月1日（火）～2月29日（土）
- ・換金総額：2億1,800万8,000円

- ・換金率：99.09%
- ・換金方法：参加店が取扱金融機関で使用済商品券を換金する。
- ・換金期間：10月1日（火）～3月16日（月）
- ・換金手数料：参加店が1%を負担。（取扱金融機関の収入となる。）

イ 補助金

名 称	補助額	備考
プレミアム商品券事業補助金	25,000,000円	プレミアム付き商品券発行に係るプレミアム分及び経費

(6) 所得の少ない方・子育て世帯向け商品券発行业

消費税及び地方消費税の税率の引上げに際し、所得の少ない方及び子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費の喚起や下支えを図るためにプレミアム付き商品券を発行した。

- ・発行者：栃木市（国庫補助事業）
- ・販売冊数：40,471冊（販売額2億235万5,000円）
- ・購入対象者：①住民税非課税者
②平成28年4月2日から令和元年9月30日までの間に生まれた子が属する世帯の世帯主
- ・購入限度：①の方 25,000円
②の方 25,000円×対象の子どもの数
- ・購入方法：市から交付された購入引換券を持参し、栃木市内の郵便局で購入。
ただし、①の方については申請が必要。
- ・販売期間：9月24日（火）～2月28日（金）
- ・発行内容：1冊5枚綴り（1,000円券×5枚）を4千円で販売（プレミアム率25%）、全店共通券が5枚
- ・有効期間：10月1日（火）～2月29日（土）
- ・換金総額：2億82万7,000円
- ・換金率：99.24%
- ・換金方法：取扱店が市に使用済商品券を郵送後、相当額を指定口座へ振込。
- ・換金期間：10月1日（火）～3月16日（月）
- ・商品券取扱店舗数：465店

(7) 特定計量器定期検査事務

取引や証明上の計量の適正化を推進するため、商店や法人等の取引及び医療機関、学校等で証明に使用しているはかりについて、計量法に基づき、県の計量検定士による定期検査を実施した。（隔年実施）

- ・実施主体：栃木県
- ・実施期間：5月20日（月）から6月7日（金）までの平日14日間
- ・実施会場：藤岡公民館、岩舟総合支所、かかしの里、大平まちづくり交流センター（プラッツおおひら）、栃木保健福祉センター、老人福祉センター福寿園、栃木市水道庁舎、都賀公民館、西方公民館
- ・受検件数：418件

2 産業振興支援

市内において1件でも多くの創業が実現すること、若者や女性等の創業に関する機運を高めることを目的として、ビジネスプランコンテスト2019を開催した。

本市において創業を目指す方や、創業後間もない方から18件のビジネスプランの応募があり、新規性や実現可能性等において優秀なプランを表彰するとともに、事業化を支援するための奨励金を贈呈した。

(1) 開催内容

内容	実施日	会場・参加者数等
募集期間	7月1日(月) ～10月31日(木)	
ブラッシュアップセミナー【基礎編】	11月13日(水)	市役所本庁舎 正庁 14名参加
書類審査会	11月19日(火)	市役所本庁舎 302会議室
若手経営者との意見交換会 (協力：栃木商工会議所青年経営者会)	12月4日(水)	サンプラザ 10名参加
ブラッシュアップ個別相談会【応用編】	12月23日(月)	市役所本庁舎 401・402会議室 6名参加
プレゼンテーション審査会・表彰式 (過去コンテスト受賞者報告会)	1月29日(水)	市役所本庁舎 正庁 観覧者 約60名
ステップアップ個別相談会	2月18日(火)	市役所大平総合支所 第1・第2会議室 6名参加

(2) 表彰・奨励金

- ・最優秀賞(80万円)：岡田怜子
- ・若者特別賞(30万円)：遠藤翼
- ・女性特別賞(30万円)：吉田真紀
- ・優秀賞(5万円)：小山翔、藤野晴彦
- ・審査員特別賞：臼井克英

(3) 審査員

- ・染谷勝彦(企業再建・承継コンサルタント協同組合 組合員)
- ・加藤潔((株)あしぎん総合研究所 代表取締役)
- ・藤井大介((株)ファーム・アンド・ファーム・カンパニー 代表取締役)
- ・酒井由美(光産業(株) 取締役)
- ・福原誠(市産業振興部長)

3 金融支援

(1) 市制度融資

ア 中小企業向け資金

市が金融機関に預託を行い、融資限度額及び貸付利率等の融資条件を定めた信用

保証協会の保証付融資を設けることで、中小企業者及び小規模企業者の資金繰りの円滑化を支援した。

中小企業向け資金融資預託金(中小企業設備合理化資金、中小企業経営安定資金、小規模企業者資金)として24億2,700万円、中小企業緊急景気対策特別資金融資預託金として3,000万円、中小企業創業資金融資預託金として4,500万円を、それぞれ栃木県信用保証協会を介して取扱金融機関に預託し、融資の利用促進を図った。

(7) 中小企業設備合理化資金

中小企業者の設備の合理化を支援するための設備資金。

- ・融資限度額 2,000万円
- ・返済期間 10年以内(据置き6か月以内)
- ・年 利 1.6%(5年以内)
1.9%(7年以内)
2.1%(10年以内)
- ・協調倍率 3倍
- ・融資状況

令和元年度		平成30年度		平成29年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
38件	308,860千円	36件	196,310千円	44件	235,138千円

(イ) 中小企業経営安定資金

中小企業者の経営の安定化を支援するための運転資金。

- ・融資限度額 2,000万円
- ・返済期間 7年以内(据置き6か月以内)
- ・年 利 1.4%(3年以内)
1.6%(5年以内)
1.8%(7年以内)
- ・協調倍率 3倍
- ・融資状況

令和元年度		平成30年度		平成29年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
352件	2,584,000千円	415件	2,798,150千円	429件	2,567,160千円

(ウ) 小規模企業者資金

特に資金供給が行われにくい小規模企業者の資金調達を支援するための設備資金及び運転資金。

- ・融資限度額 1,250万円
- ・返済期間 5年以内(据置き6か月以内)
- ・年 利 1.4%(3年以内)
1.6%(5年以内)
- ・協調倍率 3倍
- ・融資状況

令和元年度		平成 30 年度		平成 29 年度	
件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
80 件	647,550 千円	50 件	133,951 千円	34 件	108,700 千円

(エ) 中小企業緊急景気対策特別資金

売上の減少が生じている中小企業者、取引金融機関の破綻により資金面から経営上の支障を来している中小企業者の資金調達を支援するための運転資金。

- ・融資限度額 売上の減少 1,000 万円
取引金融機関破綻、合併等 1,000 万円
- ・返済期間 5 年以内（1 年超の場合に据置き 6 か月以内）
- ・年 利 1.3 %（1 年以内）
1.4 %（3 年以内）
1.6 %（5 年以内）
- ・協調倍率 3 倍
- ・融資状況

令和元年度		平成 30 年度		平成 29 年度	
件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
2 件	12,000 千円	1 件	5,000 千円	1 件	1 千円

(オ) 中小企業創業資金

市内で新たに創業する者や事業転換を行う中小企業者の資金調達を支援するための設備資金及び運転資金。

- ・融資限度額 500 万円
- ・返済期間 5 年以内（1 年超の場合に据置き 6 か月以内）
- ・年 利 1.6 %（申込人（法人の場合は代表者）が女性又は若者（融資実行時の年齢が 40 歳未満）である場合は、0.2%引下げ）
- ・協調倍率 2 倍
- ・融資状況

令和元年度		平成 30 年度		平成 29 年度	
件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
3 件	15,000 千円	10 件	34,650 千円	10 件	22,800 千円

イ まちづくり資金

歴史的町並み景観形成資金及び栃木駅周辺地区まちづくり資金の取扱金融機関である足利銀行栃木支店、栃木信用金庫本店及び栃木銀行栃木支店に対し、計 300 万円を預託した。

(7) 歴史的町並み景観形成資金

蔵の街大通りや巴波川周辺地区において魅力的な街づくりを推進するための、歴史的建造物を生かした景観修復等に対する融資。

- ・融資限度額 3,000 万円
- ・返済期間 15 年以内

- ・年 利 2.2 % (5 年以内)
- 2.4 % (10 年以内)
- 2.7 % (15 年以内)
- ・協 調 倍 率 3 倍
- ・融 資 状 況 融資実績なし

(イ) 栃木駅周辺地区まちづくり資金

市の玄関口にふさわしい魅力ある街づくりを推進するための、栃木駅周辺地区の景観形成に対する融資。

- ・融資限度額 3,000 万円
- ・返 済 期 間 15 年以内
- ・年 利 2.2 % (5 年以内)
- 2.4 % (10 年以内)
- 2.7 % (15 年以内)
- ・協 調 倍 率 3 倍
- ・融 資 状 況 融資実績なし

ウ 勤労者向け資金融資

勤労者住宅資金の取扱金融機関である中央労働金庫栃木支店に対し、平成 30 年 12 月末時点の債務残高の補填として 500 万円を預託した。

(ア) 勤労者住宅資金

市内在住の中小企業勤労者に、住宅用土地建物購入資金を貸付け、住宅取得促進を図るため、平成 29 年度まで融資申込み受付を実施していたが、市中金利の低下等により、勤労者住宅資金の需要がなくなり、平成 30 年度以降は新規受付を終了した。現在は、償還中の勤労者の債務残高に対し、中央労働金庫栃木支店へ預託を行っている。

- ・融資限度額 2,000 万円
- ・返 済 期 間 35 年以内
- ・年 利 2.5 % (平成 29 年度)
- ・協 調 倍 率 3 倍

(2) 中小企業向け資金融資信用保証料補助金

市制度融資（中小企業向け資金）の利用者が栃木県信用保証協会に支払う信用保証料を当該年度に全額補助し、負担を軽減すると共に、市制度融資利用促進を図った。

区 分	令和元年度		平成 30 年度	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
設 備 合 理 化	38	9,579,751	36	4,400,438
経 営 安 定	356	47,619,189	415	52,778,713
小 規 模 企 業 者	81	4,984,564	50	2,354,063
緊 急 景 気 対 策	2	339,983	1	35,740
創 業	3	311,992	10	798,089
旧岩舟町制度に係る 返 戻 金	0	0	(1)	△623
合 計	480	62,835,479	512	60,366,420

(3) 経営安定関連保証（セーフティネット保証）認定

取引先の再生手続等の申請や事業活動の制限、災害、取引金融機関の破綻、大規模な経済危機等による信用の収縮等により経営の安定に支障を生じている中小企業者に対して、中小企業信用保険法第2条第5項の規定に基づく認定を行った。

・認定状況

(単位：件)

保険法	適用事項	令和元年度	平成30年度	平成29年度
第1号	連鎖倒産防止	—	—	—
第2号	取引先企業のリストラ等の事業活動の制限	—	—	—
第3号	突発的災害（事故等）	—	—	—
第4号	突発的災害（自然災害等）	29	—	—
第5号	業況の悪化している業種	1	1	8
第6号	取引金融機関の破綻	—	—	—
第7号	金融機関の経営の相当程度の合理化に伴う金融取引の調整	—	—	—
第8号	金融機関の整理回収機構に対する貸付債権の譲渡	—	—	—
合 計		30	1	8

(4) 小規模事業者経営改善資金融資制度利子補助金

㈱日本政策金融公庫の「小規模事業者経営改善資金（マル経融資）」を利用した小規模事業者の借入れ当初の負担軽減と経営の安定化を図るため、当該融資に係る利子の一部を補助した。

- ・補助対象（融資実行日）：平成29年4月～
- ・補助率：返済利子の2分の1
- ・支援年限：融資実行後2年間
- ・補助上限額：8万円
- ・補助金交付実績

令和元年度		平成30年度		平成29年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
191件	3,147,900円	156件	2,842,100円	140件	1,535,800円

4 中小企業振興事業

(1) 栃木市中小企業・小規模企業振興審議会

平成29年6月に制定した栃木市中小企業・小規模企業の振興に関する条例に基づき、中小企業・小規模企業の振興に関する施策を計画的かつ総合的に推進するために必要な事項を審議するための組織である栃木市中小企業・小規模企業振興審議会を開催した。

ア 委員の構成

- ・学識経験を有する者 1人
 - ・市内中小企業者を代表する者 6人
 - ・関係団体から選出された者 5人
 - ・公募による者 2人
 - ・市の職員 1人
- 合計 15人

イ 会議の開催

期 日	場 所	主な議案等
8月5日（火）	市役所 全員協議会室	・栃木市中小企業・小規模企業振興ビジョンに掲げる具体的な取組の検証について ・（仮称）栃木市中小企業総合支援センターについて

(2) 先端設備等導入計画に基づく認定事務

生産性向上特別措置法に基づく「導入促進基本計画」を平成30年7月に策定し、市内中小企業が税制支援などの支援措置を受けることができる「先端設備等導入計画」の認定事務を行った。

- ・実 績 新規認定 83件
変更認定 11件

5 中小企業災害復旧支援事業（令和元年東日本台風豪雨災害）

令和元年東日本台風による被災事業所の復旧費用の補助、機械類や車両等の設備の修理や買替え費用の一部補助及び融資に係る利子の一部を補助し、事業活動の早期の安定回復のための支援を行った。

(1) 被災事業所等復旧支援事業費補助金

- ・補助対象経費 被災事業所（建築物）の復旧費用（10万円以上）
- ・補助対象者 令和元年東日本台風により被災した市内で事業を営む事業者
- ・補助金額 被害状況により、以下のとおり。
 - ①全壊：100万円まで
 - ②大規模半壊：75万円まで
 - ③半壊：50万円まで
 - ④一部損壊：復旧費用の50%（10万円まで）
- ・実施状況 61件 21,702千円

(2) 被災中小企業再建支援補助金

- ・補助対象経費 ①事業用設備の再建費用（30万円以上）
②仮設事業所の設置費用
- ・補助対象者 令和元年東日本台風により被災した市内の中小企業者
- ・補助金額 ①②ともに費用の20%（100万円まで）
ただし、①については、保険金額を控除する。
- ・実施状況 47件 20,262千円

(3) 被災中小企業災害復旧資金融資利子補助金

- ・補助対象額 災害復旧に係る資金融資の利子の総見込額

- ・補助対象者 令和元年東日本台風により被災し、市制度融資等を利用した市内の
中小企業 者
- ・補助金額 償還期間中に返済することが見込まれる利子の80%
(償還期間10年、100万円まで)
- ・実施状況 30件 12,899千円

工業労働係

1 工業の振興

(1) 工場立地法に基づく届出の受理業務

工場等の適正な操業環境の保全を図るため、工場立地法に基づき、工場立地に関する準則との適合について審査・指導した。

なお、工場用地の効率的な活用及び企業立地の促進を図るため、国で公表した準則に代えて適用できる「栃木市工場立地法に基づく準則を定める条例」を制定し、緑地面積率等を緩和している。

・届出件数 (単位：件)

新設	変更	廃止	承継	名義変更	計
3	1	1	-	2	7

(2) 砂利採取法・採石法に基づく業務

ア 砂利採取計画認可事務

平成30年度から砂利採取法に基づく認可権限が移譲されたので、栃木県工業振興課の協力を得ながら5件の認可事務を進めた。

イ 陸砂利採石監視業務

砂利・岩石採取に伴う採取地及び周辺地域における事故・不正採取の未然防止を図るため、監視員を委嘱し定期的に監視活動を実施した。

・活動実績

区 分	箇所数	総認可面積 (㎡)
砂利採取法に基づく認可地(砂利採取場)	2	11,351
砂利採取法に基づく認可地(洗浄施設)	3	185,757
採石法に基づく認可地	12	5,118,037

(3) 大光寺工業団地管理事業

大光寺工業団地内施設(道路、調整池等)の維持や、工場排水等による事故を未然に防止するため、団地内の見回り及び管理業務等を実施した。

ア 大光寺工業団地の概要

総面積：15.2ha、分譲完了：昭和63年9月

立地企業名(事業所名)	本社住所	工場所在地	製造品名
トヨタホーム(株)栃木事業所	名古屋市東区泉1-23-22	大光寺町3487-1	鉄骨系住宅
(株)ムトウユニパック栃木工場	江東区永代1-7-12	大光寺町1313-1	和・洋封筒
旭化学合成(株)栃木工場	板橋区小豆沢1-12-15	大光寺町3487-8	合成接着剤

イ 大光寺工業団地内施設維持管理業務

(7) 除草業務

(公社) 栃木市シルバー人材センターへの委託により工業団地進入路及び調整池の草刈りを実施した。

・草刈り 6月、10月

ウ 大光寺工業団地連絡協議会

団地内施設の適正な維持管理を図るため、市及び立地企業で組織する大光寺工業団地連絡協議会の活動として、定期的に清掃等を実施した。

・団地内道路、公園等敷地清掃

実施回数 8回

(4) 栃木市企業連絡協議会

栃木市内既存企業の定着を促進し、さらなる産業集積の一助とするため、また、市と企業、企業同士の業種間の情報交換及び各種連携の場のひとつとして、市内で製造業を営む企業等で本会を設置している。

・講演会（就業安定対策協議会とともに主催）

日時 2月7日(金)

場所 サンプラザ

講演 「ワーク・ライフ・バランスと多様な人材確保!!」

講師 野崎 千晶 氏

・会員企業

(単位：事業所)

栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域	合計
22	8	3	5	5	2	45

(5) 技能顕彰

技能の必要性・重要性の理解を深め、技能水準の向上及び技能者の社会的地位の向上を図り、職業に精進する気運を高めることを目的に、本市在住・在勤の受賞者等をホームページへの掲載により顕彰した。

・技能検定合格者 62人

2 産業振興支援事業

(1) 産業振興団体補助

商工関係諸団体の健全な育成と活動を支援し、産業の振興と活性化を図るため、県内産業支援団体へ負担金を支出した。

ア 栃木県産業振興センター負担金

県内産業の振興を目的として、高度技術の開発及び利用の促進、創業や新分野展開など新事業の創出促進、中小企業の経営革新等に関する諸事業を総合的に推進する機関として設置された栃木県産業振興センターへ負担金を支出した。

・本市負担金 10,500円

イ ジェトロ栃木情報センター負担金

中小企業等の国際ビジネス展開支援、日本企業の海外ビジネス展開支援など、日

本の貿易の振興に関する事業、開発途上国・地域に関する研究を行うジェトロ栃木情報センターへ負担金を支出した。

- ・本市負担金 200,000 円

(2) 新製品等開発支援事業補助金

栃木市内において、新製品等の研究開発を行う中小企業者の取組に補助金を交付した。

- ・対象事業 市場における製品と比較し、新規性がある製品・技術の開発を行おうとする中小企業者で、補助金審査会において採択されたもの。
- ・補助内容 補助対象経費の2分の1に相当する額（限度額 100 万円）
- ・実績 1 件

(3) 産業財産権取得費補助金

市内の中小企業者の競争力を高め、本市における産業の活性化を図ることを目的に、産業財産権の取得費用に対する助成を行った。

- ・対象 象 産業財産権を取得した中小企業者
- ・対象となる産業財産権 特許権、実用新案権、意匠権、商標権
- ・補助、助成金の内容 特許等取得に対する助成
取得後6か月以内に申請
取得対象費用の2/3とする
(特許権は50万円を、それ以外は10万円を限度とする)

- ・補助実績 (単位：件)

特許権	実用新案権	意匠権	商標権	合計
-	-	-	-	0

3 勤労者支援

(1) 勤労者福祉サービスセンター支援事業

中小企業勤労者に対する福利厚生制度の充実を目的として、各種事業を実施する栃木市勤労者福祉サービスセンターの管理運営を支援し、労働者の勤労意欲の増進及び中小企業における人材の確保・定着に努めた。

ア 事業団体

- ・栃木市勤労者福祉サービスセンター（愛称 ウェルワークとちぎ）
- ・理事長 大川秀子
- ・所在地 入舟町 15-5
- ・会員数 事業所数 459 事業所
従業員数 1,446 人

イ 会議関係

期 日	場 所	内 容
5 月 9 日(木)	入舟庁舎	第 1 回サービスセンター担当主管課長会議
5 月 27 日(月)	市役所本庁舎	第 1 回サービスセンター理事会

10月10日(木) ～11日(金)	甲府市 ホテル談露館	全福センター東ブロック会議
1月24日(金)	台東区 テレコム センタービル	全福センター関東ブロック協議会実務研修会
2月18日(火)	入舟庁舎	第2回サービスセンター担当主管課長会議
3月9日(月)	市役所本庁舎	第2回サービスセンター理事会

ウ 実施事業

(ア) 余暇活動事業

a スポーツ・レクリエーション事業及び旅行事業

期 日	内 容	場 所	参加人員(人)
8月3日(土)	筑波宇宙センターと那珂湊さかな市場	筑波宇宙センター	42
9月25日(水)	第36回ボウリング大会	サンプラザボウル	30
12月8日(日)	神奈川県・栃木県共済会合同事業東京 ディズニーランドパーク・ファン・パーティー	東京ディズニー ランド	32
その他市等の 主催事業助成	藤岡観光農園いも掘り・栃木シティFC入場券		34
合 計			138

b 旅行等補助事業

(単位：人)

宿泊施設利用補助	166
提携ツアー利用補助	34

(イ) 余暇施設利用事業

(単位：人)

提 携 施 設 名	利用人数
東武動物公園（東武ハッピーフリーパス）	620
那須ハイランドパーク	148
東京ディズニーランド・東京ディズニーシー	1,078
シネマロブレ5（映画館）	2,063
小山温泉「思川」割引利用	187
小山温泉「思川」回数券	4
大平ぶどう団地（ぶどう狩り）	168
アグリノ郷（いちご狩り）	56
栃木市総合運動公園プール	144
宇都宮動物園	287
那須どうぶつ王国	113
東京サマーランド	10
スパリゾートハワイアンズ	300
としまえん	4
国営ひたち海浜公園プレジャーガーデン	3
井頭公園一万人プール	42

観光農園いわふね（フルーツ狩り）	9
合 計	5,236

(ウ) 在職中の生活安定事業

慶弔給付金 (単位：件)

給付項目	件 数
結 婚 祝 金	18
出 産 祝 金	21
銀 婚 祝 金	1
入 学 祝 金	110
傷 病 休 業 保 険 金	6
疾 病 死 亡 等 保 険 金	2
不慮の事故死亡等保険金	1
死 亡 弔 慰 金	23
合 計	182

(エ) 文化教養健康事業

a 自己啓発事業

(単位：人)

期 日	内 容	場 所	参加人数
12月15日(土)	フラワーBOXとガーデニング教室	入舟庁舎	20
通 年	みかも山公園みどりの相談所講座		27
通 年	NHK 学園生涯学習通信講座		—
通 年	栃木市栃木文化会館等の各種チケットのあっせん		74
通 年	栃木市民大学等文化教養健康事業助成		4
合 計			125

b 健康の維持増進事業

(単位：人)

事業名	人数
人間ドック・脳ドック助成事業	85
インフルエンザ予防接種受診助成事業	193

(オ) 広報宣伝活動（PR活動）

会報誌「ウェルワークとちぎ」（年6回発行）を発行

(カ) 会員勧誘活動

本庁及び各総合支所商工担当課窓口にのぼり旗及び案内板を掲示し、「ウェルワークとちぎ」の周知・勧誘を図った。

ミニコミ誌折込チラシにサービスセンターの紹介を掲載し、新会員の獲得を図った。

コミュニティFM出演の際、サービスセンターの周知・勧誘を図った。

(キ) その他

会員の誕生日に「バースデープレゼント」、満20歳の会員に「はたちのプレゼント」、金婚・珊瑚婚祝を申請した会員に「金婚・珊瑚婚祝品」を贈呈した。

(2) 労働団体の支援

連合栃木下都賀地域協議会の実施する勤労者福利厚生事業等に対して補助を行うことにより、事業実施を支援した。

名	称	補助額(円)
第90回栃木県メーカー下都賀地区大会補助金		50,000
福利厚生活動補助金		130,000
内 訳	スポーツ大会	20,000
	野球大会	30,000
	家族ふれあい行事	40,000
	列島クリーン作戦	10,000
	新春の集い	30,000

(3) 就業安定対策

ア 栃木市就業安定対策協議会

市内企業及び関係団体の代表者等で組織する栃木市就業安定対策協議会の活動として、安定した就労の促進と職場内における人権問題の早期解決を図るため、市民及び市内企業に対して各種啓発活動等を実施した。

(ア) 求人情報の提供

ハローワークとちぎ求人情報の配布（通年）

(イ) 会議及び啓発事業

実施日	内 容
7月8日(月)	栃木市就業安定対策協議会
11月18日(月)	人権週間における街頭啓発（令和元年東日本台風による大雨被害のため中止）
12月26日(木)	人権啓発資料（パンフレット）送付
2月7日(金)	働き方改革講演会の開催 演題 ワーク・ライフ・バランスと多様な人材確保（参加者58人）

イ 合同就職面接会等の開催

市内事業所における人材の確保と、地元での就職を希望する新規学卒者及び若年者や中高年の求職者等への支援として、関係機関との連携により合同就職面接会等を開催した。

実施日	内 容	会 場
7月4日(木)	栃木市・壬生町中高年者合同就職面接会 栃木市・ハローワーク栃木・壬生町が主催 対象者：概ね40歳以上の求職者等 参加企業：25社 参加求職者：103人	サンプラザ

11月8日(金)	栃木市・壬生町若年者合同就職面接会 栃木市・ハローワーク栃木・壬生町が主催 対象者：概ね40歳未満の求職者等 参加企業：29社 参加求職者：37人	サンプラザ
2月28日(金) (未実施)	就活Fes' 20 in蔵の街とちぎ ケーブルテレビ(株)が主催、栃木市・栃木市商 工経済団体連絡協議会が共催 対象者：令和3年大学等卒業予定者 参加企業：20社程度 参加学生等：50人程度 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止又は 延期	サンプラザ

(4) 職業訓練支援

技能労働者の養成、確保及び技能水準の向上を図ることを目的に、職業能力開発促進法の規定に基づき栃木県知事の認可を受けて設置されている共同高等産業技術学校に対し補助を行うことにより学校の運営を支援した。

交付先	所在地	金額等
栃木共同高等産業技術学校	栃木市日ノ出町16番6号 (栃木市技能センター内)	固定額500,000円＋(40,000円×市内生徒数3人)＝620,000円
鹿沼共同高等産業技術学校	鹿沼市上石川1465番地4 (鹿沼市職業訓練センター内)	定額 100,000円

4 勤労者福祉施設の管理、運営

(1) 勤労者総合福祉センター管理運営事業

中小企業労働者の福祉の充実と勤労意欲の向上を図るため、栃木市勤労者総合福祉センターの管理運営事業をシダックス大新東ヒューマンサービス(株)に委託し、各種講座を開講した。

ア 利用状況 ※3月7日～24日まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館

使用区分	1階会議室	2階会議室	教養文化室	多目的ホール	職業技能講習室	研修室	個人多目的ホール	屋外イベント	合計
件数(件)	268	271	111	847	136	126	407	5	2,171
人数(人)	2,765	6,344	881	24,913	1,579	1,343	1,549	64	39,438

イ 講座、イベント等の状況

(ア) 自主講座

講座名	第1期(各10回)		第2期(各10回)		第3期(各9回)		平均年齢 (歳)	合計 (人)
	実施日	参加者(人)	実施日	参加者(人)	実施日	参加者(人)		
初めての書道	5月13日 ～7月29日	110	8月19日 ～11月18日	106	12月23日 ～3月2日	66	64	282
健康体操	5月13日 ～7月22日	421	8月19日 ～11月18日	350	12月23日 ～3月2日	261	70	1,032

筋力アップ	5月13日 ～7月22日	737	8月19日 ～11月18日	681	12月23日 ～3月2日	494	64	1,912
ストレッチ&ヨガ	5月15日 ～7月17日	189	8月28日 ～11月13日	203	1月8日 ～2月26日	122	59	514
エアロ★ダンス	5月15日 ～7月17日	285	8月28日 ～11月6日	264	1月8日 ～2月26日	184	60	733
リズム体操	5月9日 ～7月11日	539	8月29日 ～10月31日	518	1月9日 ～2月27日	451	72	1,508
社交ダンス	5月9日 ～7月11日	68					66	68
イキイキ☆フィットネス	5月10日 ～7月19日	400	8月30日 ～11月1日	387	1月10日 ～2月28日	261	66	1,048
合計		2,749		2,509		1,839	65	7,097

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3期は各講座を一部中止した。

(イ) 単発講座、イベント

名称	開催日	参加(人)	名称	開催日	参加(人)
プロ直伝！整体講座	6月9日(日)	8	きんそうマルシェ	1月19日(日)	300
ふれあいパーティー	7月7日(日)	17	新春社交ダンスパーティー	1月26日(日)	70
おりがみ講座	8月18日(日)	24	普通救命講習1	2月5日(水)	10
消防訓練	9月4日(水)	81	大なわとびに挑戦！	2月16日(日)	27
幼児からはじめる楽しい英語	9月8日(日)	32	マザーズセミナー	2月19日(水)	10
あったかもちぎ体操	9月9日(月)	22	きんそうハローワーク	2月19日(水)	4
ふれあいパーティー	10月6日(日)	30	消防訓練	3月11日(水)	3
秋の社交ダンスパーティー	10月13日(日)	70	ふれあいパーティー	3月1日(日)	※
コスプレイベント×machicos	10月27日(日)	330	社交ダンスパーティー	3月14日(土)	※
きんそうキッズニア	11月17日(日)	50	勤総フェスティバル	3月15日(日)	※
新体力テスト	12月5日(木)	9	顔も体もすっきりヨガ	3月29日(日)	※
ふれあいパーティー	12月8日(日)	23			

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止（開催日は開催予定日）

(2) 栃木勤労青少年ホーム管理運営事業

ア 概要 (単位：人)

ホーム登録者数	273
ホーム利用者数	15,759

イ 年齢層別登録者数 (単位：人)

区分	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35歳以上	合計
男	1	2	11	13	59	86
女	3	6	14	24	140	187
合計	4	8	25	37	199	273

ウ 年齢層別利用状況 (単位：人)

区分	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35歳以上	合計
男	39	105	2,452	552	2,860	6,008

女	125	332	2,622	1,229	5,443	9,751
合計	164	437	5,074	1,781	8,303	15,759

エ 月別利用状況

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1,391	1,480	1,611	1,401	1,380	1,526	1,652	1,374	1,042	1,107	1,496	299	15,759

オ 曜日別利用状況

(単位：人)

日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	合計
722	2,636	1,902	3,517	2,936	2,456	1,590	15,759

カ 栃木勤労青少年ホーム講座開講、ホーム行事、クラブ活動等の状況

(ア) 定期講座

講座名	定員(人)	延べ実施回数(回)	延べ受講者数(人)	開催曜日
英会話(初級)	15	20	134	月
薬膳茶	10	4	19	月
やさしいペン字	20	6	30	月
パーソナルトレーニング	15	6	71	火
バドミントン	20	16	62	火
暗闇フィットネス	12	13	164	火
ギター講座	10	6	54	火
スタイリッシュヨガ	30	29	887	水
ソフトバレーボール	20	17	183	水
フラワーアレンジメント	15	2	13	水
ZUMBAフィットネス	30	24	443	木
ピラティス	30	18	370	木
硬式テニス	15	18	70	木
ベリーダンス	20	28	329	金
リラックス整体	15	6	48	金
つまみ細工	10	13	78	金
フラダンス	25	28	538	土
合計		254	3,493	

(イ) 自立・就職相談事業

- ・内 容 日常の悩みや社会生活、就労に関する相談・助言
- ・実施回数 80回
- ・延べ相談者数 162人

(ウ) ホーム行事(利用者会事業)等

行事概要	実施日	参加者数(人)	会場
第4回栃木・大平勤労青少年ホーム及び勤労者体育センター利用者交流スポーツ大会	10月6日(日)	44	勤労者体育センター

ウイングとちぎフェスタ	11月16日(土)	122	市民会館講堂
ウイングとちぎクリスマス会	12月14日(土)	44	栃木勤労青少年ホーム体育室

(エ) 他ホームとの交流イベント等

行 事 概 要	実施日	参加人数(人)	会 場
大平勤労青少年ホーム利用者発表会	8月 18日(日)	25	大平勤労青少年ホーム
県ホーム協議会スポーツ交流会	11月11日(月)	中止※	—

※令和元年東日本台風による大雨被害のため

(オ) クラブ活動

ク ラ ブ 名	活動曜日	活動回数(回)	活動延べ人数(人)
バレーボール遊人会	月	35	700
ベリーダンス	月	62	744
とちぎ江戸料理研究会	火	46	276
スポーツパラダイス	水	35	700
あかさた・ナ	水	48	288
ユースネット	木	49	784
HNK	金	50	300
手づくりパンクラブ	金	48	288
S S O	土	43	727
ういすてりあ	日	27	675
南インド古典舞踊と即興ダンス	不定期	230	230
合 計		673	5,712

(カ) 婚活イベント事業

行事概要	実施日予定日	参加者数(人)	会 場
独身男女で熱々ピザ作り	7月28日(日)	中止※1	—
スポーツで仲間を作ろう	3月15日(日)	中止※2	—
男女ペアヨガ(2回)	3月17日(火) 3月31日(火)	中止※2	—

※1 参加申込み人数が最小開催人数に満たなかったため

※2 新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(3) 大平勤労青少年ホーム管理運営事業

ア 概要 (単位：人)

ホーム登録者数	332
ホーム利用者数	6,447

イ 年齢層別登録者数

(単位：人)

区 分	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35歳以上	合計
男	0	2	0	6	52	60
女	5	5	16	30	216	272
合計	5	7	16	36	268	332

ウ 年齢層別利用状況

(単位：人)

区 分	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35歳以上	合計
男	114	117	6	65	1,074	1,376
女	168	138	219	287	4,259	5,071
合計	282	255	225	352	5,333	6,447

エ 月別利用状況

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
675	646	764	692	568	303	577	666	472	448	438	198	6,447

オ 曜日別利用状況

(単位：人)

日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	合計
274	1,643	742	1,267	874	1,012	635	6,447

カ 大平勤労青少年ホーム講座開講、ホーム行事、クラブ活動等の状況

(ア) 定期講座

講 座 名	定員(人)	延べ実施回数(回)	延べ受講者数(人)	開催曜日
ズンバ	25	36	688	月
書道	15	28	292	月
沖縄さんしん	15	20	129	月
ボディメイクヨガ	25	37	477	火
ゴルフ	20	27	222	火
テニス	20	27	259	水
着付	15	19	60	水
ヒーリングヨガ	25	35	372	水
英会話	15	19	86	木
ボディケア	20	19	246	木
料理	15	35	162	金
華道	15	19	90	金
ゴスペル	20	15	125	金
ダンスエアロ	25	33	184	金
ハタヨガリラックス	25	36	546	土
合 計		405	3,938	

(イ) 自立・就職相談事業

- ・内 容 日常の悩みや社会生活、就労に関する相談・助言
- ・実施回数 53回

・延べ相談者数 99人

(ウ) ホーム行事（利用者会事業）等

行 事 概 要	実施日	参加者数(人)	会 場
クリーンアップ大作戦&BBQ	6月9日(日)	27	大平勤労青少年ホーム
なっこい模擬店	7月27日(土)	18	大平運動公園
大平勤労青少年ホーム利用者発表会	8月10日(土)	93	大平勤労青少年ホーム
大平文化祭	10月26日(土)、 27日(日)	中止※	—
ホーム祭ハロウィン	10月27日(月)	26	大平勤労青少年ホーム
バスツアー	2月2日(日)	42	成田方面

※令和元年東日本台風による大雨被害のため

(エ) 他ホームとの交流イベント等

行 事 概 要	実施日	参加人数(人)	会 場
第4回栃木・大平勤労青少年ホーム及び勤労者体育センター利用者交流スポーツ大会	10月6日(日)	21	勤労者体育センター
県ホーム協議会・スポーツ交流会	11月10日(日)	中止※	—
栃木勤労青少年ホーム利用者発表会	11月16日(土)	14	栃木勤労青少年ホーム
小山勤労青少年ホームクリスマス会	12月8日(日)	13	小山市勤労青少年ホーム
栃木勤労青少年ホームクリスマス会	12月14日(土)	4	栃木勤労青少年ホーム

※令和元年東日本台風による大雨被害のため

(オ) クラブ活動

ク ラ ブ 名	活動曜日	活動回数(回)	活動延べ人数(人)
ズンバクラブ	月	14	164
書道クラブ	月	7	75
クレッセンド	月	21	42
ボディメイクヨガクラブ	火	2	9
ハナミズキ	火	26	52
ターピン	水	49	437
テニスクラブ	水	24	147
リリース	水	40	152
ローズ	木	45	260
着物リメイク	木	19	145
料理クラブ	金	8	33
華道クラブ	金	0	0

こでまり	金、月	70	355
三線クラブ	土	47	212
リラックスヨガ	土	5	38
ハッピータイム	不定期	3	16
合 計		380	2,137

(カ) 婚活イベント事業

行事概要	実施日	参加者数(人)	会 場
B B Q交流会	6月9日(日)	中止※	－
ハロウィン	10月27日(日)	5	大平勤労青少年ホーム
卓球婚活	1月25日(土)	中止※	－

※参加申込み人数が最小開催人数に満たなかったため

(4) 勤労者体育センター管理運営事業

勤労者をはじめとする市民の健康保持増進とスポーツの振興を図るため、勤労者体育センターの管理運営を栃木勤労青少年ホームと一括して環境整備・いすゞビルメンテナンス共同企業体に委託し、効率的な管理運営を実施した。

ア 利用状況

(ア) 利用者数 (単位：人)

市内居住者	23,801
市外居住者	245
合 計	24,046

(イ) 月別利用状況

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市内	3,305	3,291	3,136	3,323	1,913	3,059	1,789	0	0	0	2,941	1,044
市外	8	29	12	36	66	26	16	0	0	0	33	19
合計	3,313	3,320	3,148	3,359	1,979	3,085	1,805	0	0	0	2,974	1,063

(ウ) 曜日別利用状況

(単位：人)

曜 日	日 曜	月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜	土 曜
利用者数	2,398	3,116	5,014	4,074	2,710	3,042	3,692

(エ) 種目別利用状況 (団体利用のみ)

(単位：人)

種 目	バレーボール	バドミントン	バスケット	卓 球	リズム体操	その他
利用者数	3,913	748	4,405	9,595	2,700	1,196

イ 利用者交流イベント等

行 事 概 要	実施日	参加人数(人)
第4回栃木・大平勤労青少年ホーム及び勤労者体育センター利用者交流スポーツ大会	10月6日(日)	44
第9回勤労者体育センターソフトバレーボール大会	3月29日(日)	78

(5) 働く婦人の家活動状況

働く女性及び勤労家庭婦人の福祉の向上を図るため、女性団体の活動の場の提供や自主グループ活動を支援し、適切な管理運営を実施した。

ア 活動の概要

活動内容	参加者(人)	構成比率(%)
自主グループ	2979	95.3
その他	148	4.7
合計	3127	100.0

イ 活動区分

区 分	参加者(人)	構成比率(%)
働く女性	782	25.0
勤労家庭婦人	2,345	75.0
合計	3,127	100.0

ウ 月別活動状況

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	430	462	457	421	100	427	302	77	44	64	280	63

エ 曜日別活動状況

(単位：人)

曜 日	日 曜	月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜	土 曜
人 数	0	108	1,902	84	340	693	0

オ 年齢別活動状況

(単位：人)

年齢	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50歳以上
人数	62	94	125	2,846

カ 自主グループ等

区 分	回数(回)	延べ参加人数(人)	備 考
書 道	38	142	2グループ
ヨ ー ガ	32	224	
卓 球 (ラ ー ジ)	41	408	2グループ
押 し 花	21	56	
茶 道	59	295	2グループ
リ ズ ム 体 操	25	1,854	
合 計	216	2,979	

キ その他

区 分	回数(回)	延べ人数(人)	備 考
団 体 利 用	7	88	女性団体利用等